

2017年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2018年3月6日（火）16時00分～17時00分

場所：仙台管区気象台第4会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 . 2018年度秋季大会実行委員会の設置 | 2 ページ |
| 2 . 2017年度事業報告 | 2 ページ |
| 3 . 2017年度会計報告 | 6 ページ |
| 4 . 2017年度会計監査報告 | 7 ページ |
| 5 . 2018年度事業計画案 | |
| (1) 支部気象講演会 | 8 ページ |
| (2) 支部気象研究会 | 8 ページ |
| (3) 支部だより | 8 ページ |
| (4) 支部理事会 | 8 ページ |
| (5) 支部強化基金による活動 | 9 ページ |
| (6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 9 ページ |
| 6 . 2018年度予算案 | 10 ページ |
| 7 . 検討事項 | |
| (1) 支部長会議の報告 | 12 ページ |
| 8 . その他 事務局から | 14 ページ |

資 料

- | | |
|------------------|--------|
| 役員名簿（第30期2017年度） | 15 ページ |
| 東北支部規則 | 16 ページ |
| 東北支部細則 | 17 ページ |

議題1 . 2018年度秋季大会実行委員会の設置

2018年度気象学会秋季大会実行委員会を昨年11月に設置した。

日本気象学会東北支部2018年度秋季大会実行委員会委員

委員長：大林 正典 (仙台管区気象台長)
副委員長：青木 周司 (東北大学大学院理学研究科教授)
委員：岩崎 俊樹 (東北大学大学院理学研究科教授)
早坂 忠裕 (東北大学大学院理学研究科教授)
森本 真司 (東北大学大学院理学研究科教授)
山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科准教授)
岩淵 弘信 (東北大学大学院理学研究科准教授)
稲飯 洋一 (東北大学大学院理学研究科助教)
杉山 公利 (日本気象予報士会東北支部長)
小久保 綾香 (日本気象協会東北支社事業サービス課)
藤田 司 (仙台管区気象台気象防災部長)
大久保 忠之 (仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課長)
斎藤 篤思 (仙台管区気象台気象防災部防災調査課調査官)
正木 孝志 (仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課技術専門官)

2018年度 日本気象学会秋季大会実行委員会 第2回資料 参照

議題2 . 2017年度事業報告

1) 東北支部気象講演会

日時：平成29年10月28日(土)14時~16時30分(開場13時30分)

場所：秋田大学60周年記念ホール

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

テーマ：「激甚化する気象災害に備えて」

演題および講師：

(1)「近年における大雨災害と防災気象情報の利活用」

和田 幸一郎氏(秋田地方気象台長)

(2)「秋田県における雪氷災害について」

本谷 研氏(秋田大学 准教授)

司会：津田 紗矢佳氏(気象予報士)

参加人数：105名

主催：日本気象学会東北支部

共催：秋田地方気象台

後援：秋田県、秋田市、秋田大学、日本気象予報士会東北支部

東北支部だより第86号に開催報告を掲載予定

2) 支部強化基金による活動

第8回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成30年3月4日（日）14時～16時（開場13時30分）

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

テーマ：「集中豪雨はどうして起こる？線状降水帯って何だろう？」

話題提供：高野 健志氏（仙台管区気象台気象防災部予報課）

司会：岡田 みはる氏（日本気象予報士会）

参加人数：37名

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本気象協会東北支局・仙台管区気象台

後援：宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日時：平成29年12月4日（月）10時00分～17時15分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

発表：24題（発表応募17題（前年比+5題）、仙台管区気象台東北地方調査研究会7題）

参加人数：約60名

東北支部だより第86号に開催報告を掲載予定

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に ）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

・アンサンブル週間葉面湿潤度予報

池田 翔¹、菅野 洋光²、山崎 剛¹（1：東北大学大学院理学研究科、2：農研機構農業環境変動研究センター）

・大規模アンサンブル水稻生育シミュレーションによる気候変動に伴うコメ生産の安定性の評価

吉田 龍平（福島大学共生システム理工学類）、福井 眞（早稲田大人科）

・秋田県大潟村における最近30年間のダイズの単収とその6～8月の気圧・気温・降水量との関係

鈴木 歩乃花、井上 誠、木口 倫、渡邊 陽貴、佐藤 孝、露崎 浩、藤井 吉隆、永吉 武志、近藤 正、津田 涉（秋田県立大学生物資源科学部）

・作柄概況資料による東北地方における水稻作期の長期変化

大久保 さゆり、長谷川 利拡（農研機構東北農業研究センター）

・日本列島および地球の温暖化と海域海面水温の経年変化

今清水 雄二（無所属）

・札幌・東北日本海側の降雪地域分布と経年変動特性

谷田貝 亜紀代、木下 知里（弘前大学大学院理工学研究科）

・畳込みニューラルネットワークを用いた雲量計測手法

徳竹 正行、富岡 洋一、小平 行秀、齋藤 寛（会津大学 コンピュータ理工学部）

- ・ドローン(UAV)を用いた秋田上空における二酸化炭素の鉛直分布観測
井上 誠、芳賀 ゆうみ、永吉 武志、間所 洋和、高階 史章、木口 倫(秋田県立大学生物資源科学部)、森野 勇(国立環境研究所)
- ・岩手薮川の低温に関する一考察
舞良 弘規、名越 利幸(岩手大学教育学部)
- ・秋田県内積雪観測アメダスの積雪状況について
本谷 研(秋田大学教育文化学部)
- ・日本における日降水グリッドデータの風による捕捉損失の補正
増田 南波、谷田貝 亜紀代(弘前大学大学院理工学研究科)、上口 賢治(気象庁)、田中賢治(京大防災研)
- ・温位座標に基づく寒気流出の将来変化
菅野 湧貴、岩崎 俊樹(東北大学大学院理学研究科)
- ・極東地域における2016年1月の大寒波についての寒気質量解析
山口 純平、菅野 湧貴、岩崎 俊樹(東北大学大学院理学研究科)
- ・青森市における地形性降雪の影響要因
高橋 采伽、石田 祐宣(弘前大学大学院理工学研究科)
- ・Meso循環と放射性物質の輸送・拡散
渡邊 明(福島大学共生システム理工学類)
- ・岩手雫石盆地の霧に関する数値シミュレーション
小川 浩輝、名越 利幸(岩手大学教育学部)
- ・Atmospheric Riverが日本の豪雨に与える影響
末藤 菜保、谷田貝 亜紀代(弘前大学大学院理工学研究科)、高薮 縁(東京大学大気海洋研究所)

4) 東北支部だより

第85号(2017年9月発行)

- ・支部長就任あいさつ：大林 正典氏(日本気象学会東北支部長)
- ・寄稿「ごあいさつ」
：谷田貝 亜紀代氏(弘前大学)
- ・寄稿「大学での気象学について考える」
：吉田 龍平 氏(福島大学共生システム理工学類)
- ・2016年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・2017年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・2017年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・第8回気象サイエンスカフェ東北の開催について
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・事務局からのお知らせ

第86号（2018年3月発行予定）

- ・ 寄稿「コンパクトなフルスペック地方气象台のご紹介」
：高野 一生氏（秋田地方气象台） 仙台管区气象台（支部事務局）
- ・ 平成29年度気象講演会報告
：秋田地方气象台
- ・ 2017年度日本気象学会東北支部気象研究会報告
：斎藤 篤思氏（日本気象学会東北支部 事務局）
- ・ 事務局からのお知らせ

5) 支部理事会

- ・ 臨時回（2017年4月4日～13日，書面開催による）
- ・ 第1回（2017年5月8日，仙台管区气象台第1会議室）
- ・ 第2回（2018年3月6日，仙台管区气象台第1会議室）

6) 日本気象学会奨励賞の推薦

- ・ 推薦はなし

議題3 . 2017年度会計報告 (2018年2月28日時点)

〔支部一般会計〕(2017年4月1日~2018年2月28日)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1550,400 円	550,400 円	0 円
前期繰越金	150,692 円	150,692 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	5 円	45 円
事業活動収入計(1)	701,142 円	701,097 円	45 円
支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部气象講演会	250,000 円	201,782 円	48,218 円
支部气象研究会	100,000 円	89,100 円	10,900 円
支部だより	200,000 円	101,007 円	98,993 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	85,000 円	20,054 円	64,946 円
支部役員選挙	0 円	2,644 円	2,644 円
事務費	50,000 円	2,158 円	47,842 円
事業活動支出計(2)	700,000 円	431,745 円	268,255 円
予備費支出			
予備費支出	1,142 円	0 円	1,142 円
予備費支出計(3)	1,142 円	0 円	1,142 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	269,352 円	
次期繰越額(A)-(残りの支出予定額)	0 円	130,000 円	

マイナスの金額には、 印を付した。

*1 : 本部交付金は、支部会員 167 名×1,200 円 + 35 万円。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

〔支部強化基金による活動会計〕(気象サイエンスカフェ東北)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	95,000 円	95,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	20,000 円	*1 0 円	20,000 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	115,000 円	95,000 円	20,000 円
支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	35,000 円	91,217 円	56,217 円
会場費 開催費	35,000 円	10,283 円	24,717 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	5,000 円	2,156 円	2,844 円
役務費・交通費	25,000 円	0 円	25,000 円
事業活動支出計(2)	115,000 円	103,656 円	11,344 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	8,656 円	

マイナスの金額には、印を付した。

*1: 2018年3月4日に20,000円(予算額と同額)を受領。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

議題4 . 2017年度会計監査報告(2018年2月28日時点)

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2018年3月2日

日本気象学会東北支部会計監査

小池二郎

議題5 . 2018 年度事業計画案

(1) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

- ・2018年度は山形県で開催予定、テーマ等は未定。今後準備を進めていくこととしたい。

2012年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2012 年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝	
2013 年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	
2014 年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹	
2015 年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔	廣川 康隆
2016 年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸	
2017 年度	秋田市	和田 幸一郎	本谷 研	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

(2) 東北支部気象研究会

- ・仙台管区気象台との共催で開催を予定する。
- ・2018年度は秋季大会を仙台市で開催するため、本年度に限り開催を休止する。

(3) 東北支部だより

- ・年2回発行(第87号、88号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2017年度と同様に業者発注とする。

(4) 支部理事会

- ・例年は年2回（5～6月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。
- ・2018年度第1回理事会は、各事業の担当理事を確認するため、支部役員選挙後の早い時期に開催したい。

(5) 支部強化基金による活動

- ・第9回気象サイエンスカフェ東北を、秋～冬頃に仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

(6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

議題6 . 2018 年度予算案

〔支部一般会計〕

	2018 年度 予算額	2017 年度 予算額	予算増減額 [2018 年 2017 年]	2017 年度 決算額
収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1552,800 円	550,400 円	2,400 円	550,400 円
前期繰越金	*2130,000 円	150,692 円	20,692 円	150,692 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円	0 円
雑収入				
預金利息	5 円	50 円	45 円	5 円
事業活動収入計(1)	682,805 円	701,142 円	18,337 円	701,097 円
支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000 円	250,000 円	0 円	201,782 円
支部気象研究会	0 円	100,000 円	100,000 円	89,100 円
支部だより	200,000 円	200,000 円	0 円	101,007 円
ホームページ 運営費	15,000 円	15,000 円	0 円	15,000 円
管理費支出				
支部理事会	85,000 円	85,000 円	0 円	20,054 円
支部役員選挙	30,000 円	0 円	30,000 円	2,644 円
事務費	50,000 円	50,000 円	0 円	2,158 円
事業活動支出計(2)	630,000 円	700,000 円	70,000 円	431,745 円
予備費支出				
予備費支出	52,805 円	1,142 円	51,663 円	0 円
予備費支出計(3)	52,805 円	1,142 円	51,663 円	0 円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	0 円	0 円	269,352 円

マイナスの金額には、 印を付した。

*1本部交付金は、支部会員169名×1,200円+35万円。

*2繰越金は暫定。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

〔支部強化基金による活動会計〕(気象サイエンスカフェ東北)

	2018年度 予算額	2017年度 予算額	予算額増減 [2018年-2017年]	2017年度 決算額
収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	95,000円	95,000円	0円	95,000円
気象予報士会東北支部分担金	*120,000円	20,000円	0円	*2 0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	115,000円	115,000円	0円	95,000円
支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	45,000円	35,000円	10,000円	91,217円
会場費 開催費	25,000円	35,000円	10,000円	10,283円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円	0円
事務費	5,000円	5,000円	0円	2,156円
役務費・交通費	25,000円	25,000円	0円	0円
事業活動支出計(2)	115,000円	115,000円	0円	103,656円
当期収支差額 = (1)-(2)	0円	0円	0円	8,656円

マイナスの金額には、印を付した。

*12018年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*2:2018年3月4日に20,000円(予算額と同額)を受領。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

議題7．検討事項

(1) 支部長会議の報告

(資料については、別途支部役員に共有済み)

支部活動報告、計画

【東北支部へのコメント】

支部だよりの電子化に関して

- (中部) 電子化を検討中。大きくは無いが多少なりとも経費削減につながる。
- (東北) 電子化視野に入れつつ、メーリングリスト活用で利便性向上を図っている。
- (九州) 完全電子化しているが、特に問題は無い。
- (北海道) 過去の支部便り電子化に関しては、著作権・個人情報の処理が大変だった。

【他支部の報告から】

- (関西) 夏季大学にあわせて「気象関係合同進路説明会」実施。
夏季大学では高校生の参加費を無料とし、3名参加。
- (九州) サイエンスカフェでは若者の参加が少ないという課題があったが、今回は出前講座で学校に行った気象庁職員である学会員が宣伝した。
支部研究発表会では、ジュニアセッションと同時開催としている。
(本部理事) 高校生への働きかけはどのようにしているか。
(広岡理事) 大学から100校くらいに声をかけている。

秋季大会の運営について

【2017年度秋季大会(札幌)まとめ】

- ・参加票等の事前送付は好評かつ効率的。Web登録の住所が正しいか加減な場合がありチェックを要した。トラブルは極めて少なかった。
- ・企業展示は、過去の出展者に漏れなく声をかけるようリスト化すべき。
- (東北) 出展料の設定はどのように?
どれくらい出せる?と相手に内々に聞いた。展示場所に配慮した。
- ・セッション管理業務も有効だった。設備を良く知っていた。
- ・会場費は約180万円、外注費は計196万円だった。
- (九州) 会場費は国際会議場等で立地が良いと高い。その場合は外注する業者も高い。

【東北支部からの準備状況報告】

特段の議論はなし。

【関西支部から公開シンポを開催しない提案】

- 支部におけるアウトリーチ活動が活発化してきた現在、一般向けシンポの意義を再考。
(理事長) 基本的に実行委員会の考え方が尊重されるが、実行委員会の権限でどこまで決められるか改めて示したい。

会費の改定について

(事務局)

- ・過去3年の収支から、会費の改定は不可避。終身会員の一時金はあまり全体収支に影響が無く、これが適正かどうか議論の余地はある。
- ・2018年の総会で提案し2019年から改定したい。それまでに天気等で周知する。
- ・関連する定款の改正(メール等による総会・理事会参加を可能として経費を効率化)も同じ総会か、場合によっては臨時総会の開催もありうる。

(意見交換)

各支部とも議論する時間がなかったため、支部長個人としての議論となった。

- ・6,900円 10,000円は心理的にも大きく、気象庁職員である会員が離れる恐れが大きい。
- ・効率化による経費削減額は、事務所借用経費増と相殺せず単独で明示すべき。
- ・会員減により不可避である状況をしっかり訴える必要がある。

その他

支部の活動について、本部のHPにも掲載していく。

議題8．その他（事務局から）

東北支部会員数（個人会員）

2018年2月1日現在

県名	会員数	2017.09
青森県	25名	26名
岩手県	17名	15名
秋田県	14名	14名
山形県	15名	16名
宮城県	75名	77名
福島県	23名	24名
合計	169名	172名

3名減

支部メーリングリスト登録者数

2018年2月1日現在

県名	登録者数	2017.09
青森県	21名	22名
岩手県	10名	8名
秋田県	12名	10名
山形県	8名	9名
宮城県	53名	46名
福島県	15名	14名
合計	119名	116名

3名増

旅費等について

理事会参加に係る交通費については

青森は 21,000円〔10,500円×2〕

弘前は 22,300円〔11,110円×2〕

秋田は 20,100円〔10,030円×2〕

盛岡は 12,200円〔6,090円×2〕

山形は 2,100円〔900円×2+140円×2〕

福島は 2,600円〔1,280円×2〕

仙台、岩沼は500円をお願いします。

100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は上記に準ずるものとする。

日本気象学会東北支部第 30 期 2017 年度役員名簿

2018 年 3 月 6 日現在

支部長	大林 正典	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学名誉教授
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	福山 博己	日本気象協会東北支社事業サービス課グループリーダー
	藤田 司	仙台管区気象台気象防災部長
	桜井 美菜子	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	名越 利幸	岩手大学教授（理科教育科）
	和田 幸一郎	秋田地方気象台長
会計監査	小池 二郎	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	斎藤 篤思	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	武樋 蒔子	仙台管区気象台気象防災部観測課

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5.26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8 . 11 条を改正、 第 15 ~ 19 条を追加
昭和 40.11.18	第 8 条を改正
昭和 56.10.12	第 2 条を改正
昭和 60. 3.19	第 9 条を改正
平成 2. 6.21	第 8 条を改正
平成 6. 2.28	第 8.9.12.14.18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6.11	第 8 条を改正
平成 25. 6.20	第 1.2.18 条を改正
平成 27. 3.12	第 18 条を改正
平成 28. 2.29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8 ~ 11 名 (常任理事 2 ~ 8 名内支部長 1 名)、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事 (3 ~ 4 名) を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
(1) 事業計画および収支決算
(2) その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金 (支部強化基金を含む) と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40.11.18	1 項を改正
昭和 41. 3.15	7 項を改正
昭和 60. 3.19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2.28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6.11	1 項を改正
平成 27. 3.12	1 項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8 ~ 11 名選出する。このうち在仙理事 5 ~ 8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上